

がん化学療法
レジメン登録申請書

申請科部長	申請受付	薬局長	化療委員長

レジメン名 FOLFIRI+RAM

【申請年月日】 2025年4月1日

【申請科】 外 科
【適応腫瘍名】 大腸癌

【申請者名】 松本 匡史
【投与期間】（投与間隔・回数）
2週間毎

※太線・太枠内を記入し、提出をお願いします。

	薬剤名	投与量	投与 ルート	点滴時間 速度	投与日程					
					day1	day2	day3	day()	day()	day()
Rp1.	グラニセトロン注	3mg/100mL	d.i.v	30分	↓					
	デキサメタゾン注	9.9mg								
	ボララミン注	5mg								
	ファモチジン注	20mg								
Rp2.	ラムシルマブ注	8mg/kg	d.i.v	1時間	↓					
	生理食塩水	250mL								
Rp3.	※フィルター必須薬剤		d.i.v	2時間	↓					
	レボホリナート注	200mg/m ²								
Rp4.	5%ブドウ糖液	250mL	d.i.v	2時間	↓					
	イリノテカン注	150mg/m ²								
	5%ブドウ糖液	250mL								
Rp5.	フルオロウラシル注	400mg/m ²	d.i.v	15～30分	↓					
	5%ブドウ糖液	100mL								
Rp6.	生理食塩水	20mL	i.v	フラッシュ	↓					
Rp7.	フルオロウラシル注	2400mg/m ²		46時間	← 46時間持続 →					
	生理食塩水 or 5%ブドウ糖液									
		全量150mL (ポンプ使用時)								
Rp8.	デキサメタゾン錠	8mg/日	p.o	day2・3		↓	↓			
		1日2回								

コメント・参考文献

Rp4・5:入院中投与の場合、レボホリナートとイリノテカンは同時投与でない場合がある。
Rp5:持続点滴の場合、生食フラッシュは持続5-FU終了後行う。他の輸液があれば省略。
タンパク尿検査の際には定性検査だけでなく、定量検査も行うこと。(尿タンパク2+であっても尿タンパク量が2g未満となることがあるため)